



李豪哲

「A Second in Thousands - 36° 19'21"N, 139° 01'09"E」

2024.1.14(sun) — 3.10(sun)

この度 rin art association は李豪哲による個展「A Second in Thousands - 36° 19'21"N, 139° 01'09"E」を開催いたします。

李豪哲の作品は言葉の問題の言及が根幹にあり、言葉によってカテゴライズされることで失われていく固有性の存在意義を問い直します。

今展では「A Second in Thousands」シリーズより二つの手法で制作される作品を展示をします。

「A Second in Thousands」シリーズは作家のパフォーマンス行為により、鑑賞者と感覚を共有するように作品は完成していきます。

平面作品では秒単位で刻印された未来の時刻を、指定された時間通りに作家自身がペイントすることで印字された時刻を消していきます。

彫刻作品では床に並べたブロックに同様の時刻が印字されており、ハンマーで一つ一つブロックを壊すことで作品は完成していきます。

どちらも単純で反復的な作業を肯定するように行われ、ペイントによるタッチやハンマーによるヒビはそれぞれが異なる固有性を表し、その固有性は時間という二度と訪れない固有化された記号に付随することことで、さらに概念は強調されていきます。

また、固有化された時間は作家の行為により未来を示唆するものから、現在を共有するもの、さらには過去を見つめるものへと変容することで、時間に備わる性質そのものを可視化していきます。

作品は2020年にロンドンの大和日英基金で発表されましたが、日本国内では初公開になり、新作では平面、彫刻共に陶磁土を用いてより固有性と統一性に強度を増した作品を展開します。どうぞこの機会に李豪哲が考察する固有化された時間をご体感ください。

※展覧会初日にパフォーマンスが行われ、その後はその痕跡として完成した作品の展示を行う展覧会になります。

李豪哲 (リ ホ Chol)

1984年愛知県生まれ、埼玉県出身。

2019年英国王立美術学院彫刻科修了。2011年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程鑄金専攻修了。

主な個展に「Fragments of Information」(大和日英基金、ロンドン、2020)、「私たちはゼリーの中で反転する」(光明寺會館、広島、2015)、グループ展に「My Friends Are Genius II - Recent Graduate Exhibition」(White Conduit Projects、ロンドン、2019)、「Only Connect Osaka」(CCO クリエイティブセンター大阪、大阪、2019)、「思考する技術」(京都市立芸術大学付属ギャラリー@KCUA、京都、2018)など。

[水-日] 11:00-19:00 [月-火] 休廊

contact

rin art association

370-0044 群馬県高崎市岩押町 5-24

t:0273-87-0195 e:contact@rinartassociation w:http://rinartassociation.com